

Peach いよいよ首都圏に本格進出！ ～成田空港を拠点化し、ネットワークをさらに拡大～

- ・ 本日より、成田空港の拠点運用を開始
- ・ 東京(成田)からの事業拡大にともない「成田オペレーションサポートセンター」を開設
- ・ 本日より、国内線・国際線ともに成田空港第3ターミナルにて運航開始

Peach Aviation株式会社(以下:Peach、代表取締役CEO:井上 慎一)は、本日10月27日(日)から始まる2019年ウィンターダイヤ期間より、成田空港を拠点化しました。夜間駐機により、成田発着のネットワークをより柔軟かつ積極的に組めることとなり、Peachの首都圏の玄関口として、今後さらなるネットワーク拡充を図ります。また、成田空港に運航乗務員、客室乗務員のベースを設置すると同時に、地域に根ざし関係機関との連携・協力体制のもと円滑に事業を推進すべく、11月1日(金)に「成田オペレーションサポートセンター」を開設いたします。



成田空港第3ターミナルからの初便 東京(成田)ー大阪(関西)線出発イベントの様子

また、Peachは、本日、2019年10月27日の成田空港就航時より使用していた第1ターミナルから移転し、第3ターミナルでの運航を開始しました。本日就航するPeach初の成田発着国際線、東京(成田)ー高雄線および東京(成田)ー台北(桃園)線を含め、Peachの成田発着国内線・国際線はすべて第3ターミナルからの運航となります。

第3ターミナルからの初便となる東京(成田)ー大阪(関西)線出発時には、代表取締役CEO井上慎一をはじめとするPeachスタッフが感謝の気持ちをこめて、飲物とお菓子をゲート前でお客様に振る舞いました。その後行われたセレモニーで、井上は「本日より成田空港もPeachの拠点空港になります。Peachは成田空港を中心に、首都圏からのネットワークをどんどん広げてまいります。首都圏にお住まいの皆さまにも、日本やアジア各地にもっと気軽にお出かけいただき、『空飛ぶ電車』の旅を楽しんでいただきたい」と挨拶しました。

Peachは、これからも気軽な空の移動手段として多くの人々の往来を支え、地域の更なる活性化に貢献するとともに、日本およびアジアのリーディングLCCを目指します。

<東京(成田)発着路線>

東京(成田)－大阪(関西)線

東京(成田)－福岡線

東京(成田)－沖縄(那覇)線

東京(成田)－札幌(新千歳)線

東京(成田)－奄美線

東京(成田)－台北(桃園) 10月27日(日)より運航

東京(成田)－高雄線 10月27日(日)より運航

東京(成田)－石垣線 12月26日(木)より運航

<使用機材>

エアバスA320-200型機(定員180名)

Peach について(www.flypeach.com)

Peach は、2012 年 3 月に関西空港を拠点として運航を開始しました。現在、関西空港に加え、新千歳空港、仙台空港、成田空港、那覇空港を拠点空港とし、26 機の機材で、国内線 19 路線・国際線 19 路線に就航しています。1 日あたりの運航便数は約 130 便で、毎日 19,000 人以上のお客様にご利用いただいています。Peach は「アジアのリーディング LCC」を目指し、今秋、成田空港を拠点空港としていたバニラエアと統合しました。